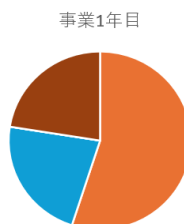
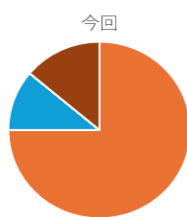


第3回 読書活動推進アンケート 教職員版

1 読書活動推進事業の活動を通して、児童・生徒の本への興味関心が高まったと思いますか。

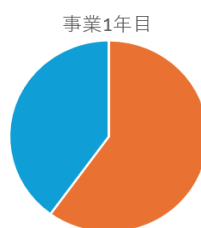
高くなった	27 人
変わらない	4 人
低くなった	0 人
わからない	5 人



2年間を通して読書活動推進事業に取り組むことで、児童・生徒の「本への興味関心」は高まっているように感じる教職員が増えている。

2 読書活動推進事業の活動を通して、児童・生徒と先生ご自身の会話で本や読書に関する会話が増えましたか。

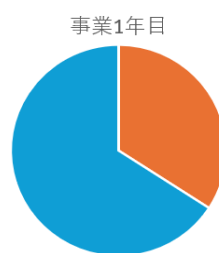
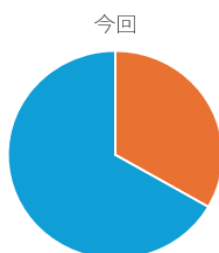
増えた	22 人
変わらない	14 人
減った	0 人



■ 1 ■ 2 ■ 3

3 読書活動推進事業の活動を通して、先生ご自身の読書量が増えましたか。

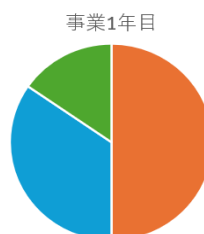
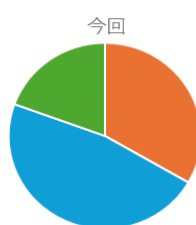
増えた	12 人
変わらない	24 人
減った	0 人



2年間を通じて読書活動推進活動を行ってきたおかげで、「減った」と回答する方はいなかった。意識的に読書する教職員の方が児童生徒と読書を通じて会話が弾んだり、本をすすめあったりできる環境は非常に望ましいことであると思う。

4 読書活動推進事業の活動を通して、先生ご自身が図書室の本を資料として活用することや、紹介することがありましたか。

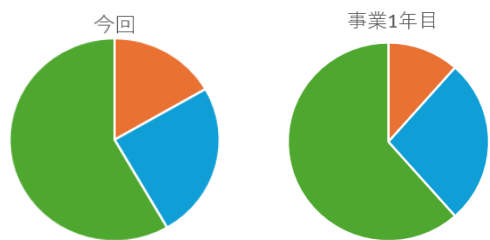
複数回あった	12 人
1回はあった	17 人
なかった	7 人



事業1年目に行われたアンケート結果より、今回の結果の方が図書室の本の活用・紹介が減っている。授業内でタブレット活用が進められる中で、教職員の図書室利用も減ってきているのではないだろうか。

5 読書活動推進事業の活動を通して、先生ご自身が「あさご森の図書館」と連携して授業に活用することはありましたか。

複数回あった	6 人
1回はあった	9 人
なかった	21 人



「あさご森の図書館」を連携した授業となると、この2年間は特定の活動に限られていたのかもしれない。ただ、今後も様々な取組を実践することで図書館とも連携が取れ、児童生徒たちも自ら本を手にとることが増えるのではないかなと思う。

6 2年間の読書活動推進事業が終わりますが、児童・生徒の読書量を増やすためには今後どのような活動が必要だと思われますか。

各学校の取組
・朝読書の継続、学校での読書タイムの確保
・児童生徒の実態に合わせ、興味を持っている本・読みやすいと感じる本を図書室に完備する
・児童生徒が本と向き合えるだけの時間的なゆとりや、図書室の利用時間の増加
・2年間の取り組み（読書アプリ、おすすめ本の紹介・発表、ビブリオバトル、読み聞かせ等）を継続
・デジタルブック等の電子媒体での読書の推奨
・家庭でも読書する時間を確保してもらいたいと保護者にも呼びかけを行い、同時に「あさご森の図書館」を利用する。
・朝読書以外にも全校読書、ブックトークの機会を設ける
・1か月に読んだ冊数の競争、表彰伝達
・図書室を利用した調べ学習をする機会の設定、教師自らが図書室内にある本の認識
・児童生徒が本を読んで「役に立った」という体験や、本と子どもたちをつなぐ活動の推進
あさご森の図書館へのお願い
・移動図書館のような取り組みや、読書ボランティアさんがされているような団体貸し出しを定期的に行う。
・絵本大賞や本屋大賞などの話題の本をいち早く入荷してもらいたい。
市へのお願いや検討事項
・こども園課とも連携した幼児期からの家庭での読み聞かせの重要性の啓発を充実させる